

# 2018年春 入試問題紹介

## 教科担当者が選ぶ「この1問」

保護者向け総合情報サイト「さぼナビ」で好評連載中の「カコモンにTRY!」の特別版として、数ある難関校のなかから中学受験コースの教科担当者が選んだ、差がつく「この1問」をご紹介します。まだこれらの問題が解ける必要はありませんが、この機会に難関中学の入試問題を体験してみてください。

### 「カコモンにTRY!」特別版



**国語** R.N. 担当者が選ぶこの1問  
聖光学院中学校 第二回 大問二

日ごろから積極的に身近な文章にふれ意識して語彙力をつけていこう

中学入試の国語では、受験生の語彙力を問う問題がよく出題されます。今回ご紹介するのは、促音「っ」をはさむ三文字の言葉を考える問題です。この問題では慣用句や定型の表現をどのくらい知っているかが問われています。空欄前後の文脈をおさえ、慣用句など言葉の知識を最大限にいかすということが大切です。こういった定型の表現は読解問題で出題される場合もあるので、その語句の意味だけを考えるのではなく、前後の文脈をよく読むことを頭に入れておくとういでしょう。

#### 差がつく! 学習アドバイス

言葉の引き出しともいえる「語彙力」は、そう簡単に身につくものではありません。日ごろから、さまざまな言葉にふれるよう意識していくことが大切になってきます。「読書」をすると自然とあらゆる言葉にふれることができます。語彙を増やすにはもってこいの方法です。また、Z会中学受験コース国語の問題で出てきた難しい言葉や表現を調べて覚えるのも一つの方法です。新聞や本、自分が解いている問題など身近にある文章に積極的にふれ、目にしたり耳にした言葉で、気になるものがあったら意味を調べると心がけてみてください。

促音「っ」をはさむ三文字の言葉を前後の文脈から類推する問題

⑤ 例 予想外の事態が起きて慌てたが、友人の 〇〇 の機転で乗り切った。 (空) とっせ

④ 話が進まないと、もう一度最初から考え直そう。

③ 計画を実行するだけの予算がなく、〇〇 もさっさと行かなくなっているという。

② ところが文化祭の計画がまったく立っていかないと聞き、〇〇 にとられた。

① 文化祭実行委員長になった友人の 〇〇 の頼みで、副委員長を引き受けた。

二次の〇〇の文の 〇〇 には、慣用句(っ)をはさむ三文字の言葉が入ります。例にならって、その言葉をそれぞれひらいて答えなさい。



**算数** 江上 智美 担当者が選ぶこの1問  
麻布中学校 大問③

条件・ルールを読み取る力が試される

条件にあてはまるものが何通りあるかを答える、「場合の数」の問題です。(1)はルールの確認となっており、まず、きちんと問題のルールを読み取れているかを問われています。(2)、(3)は、すべて書き出して考えることもできますが、実は(1)が誘導になっています。(1)で考えたものを、どうやって(2)や(3)にいかせばよいか、考えてみてください。中学入試は時間との戦いになりがちです。解けた問題についても、「もっと早く解ける方法はないかな?」「もっとまちがえにくく解ける方法はないかな?」と考える習慣をつけることが、このタイプの問題を攻略するカギとなります。

③ 2つの記号〇、×を並べてできる列のうち、次の条件にあてはまるものを考えます。

(条件) 〇が3つ以上連続して並ぶことはない。

例えば、〇〇×〇〇はこの条件にあてはまりますが、〇×〇〇〇××は条件にあてはまりません。次の問いに答えなさい。

(1) 〇、×を合わせて14個並べるとき、×の個数が最も少なくなる列を1つ書きなさい。

(2) 〇、×を合わせて13個並べるとき、×の個数が最も少なくなる列は全部で何通り考えられますか。

(3) 〇、×を合わせて12個並べるとき、×の個数が最も少なくなる列は全部で何通り考えられますか。

ルールを読み取り、誘導にしたがって楽に解きたい「場合の数」の問題

#### 差がつく! 学習アドバイス

問題文の読み取りや新しいルールを理解して適用する力は、一朝一夕で身につくものではありません。多くの問題に触れて、問題の意図をくみ取る練習をしていくことが大切です。Z会中学受験コース算数では、3年生の1月で「数え上げ」、4年生の8月で「論理」をテーマとした学習を行います。これらの回では、与えられた条件を把握することが大切な問題を多く出題していますので、問題文を注意深く読み取る力や論理的思考力、発想力をしっかりと身につけることができます。また、思考力をより伸ばしていくために、「考え方」や映像授業を見て、解き方や別解などを確認するようにしましょう。



**理科** 高安 智子 担当者が選ぶこの1問  
ラ・サール中学校 大問【3】(1)(2)(3)

身近な現象と理科を結びつけて考える

理科の入試問題は、身近なものを題材に出題されることがあります。ここでは、窓ガラスがくもった様子についての問題を取り上げました。3・4年生では、まだ学習していない内容ですが、暖かい部屋で窓ガラスがくもった様子は見たことがあると思いますので、窓のどちら側がくもっていたかを思い出してみるとよいでしょう。朝つゆについても、キャンプなどで見たことがある場合はわかりやすいかもしれません。

#### 差がつく! 学習アドバイス

今回は、Z会中学受験コース理科では5年生11月号で学習する、「飽和水蒸気量」に関連した問題を取り上げました。この問題のように、身近な現象と結びつけて考えられるものは、3・4年生で学習する内容にも多くあります。3・4年生の理科では、基礎的な知識をしっかりと固めることと、身のまわりの自然や事象などに興味をもつことが大切です。体験を重視し、自然科学などに関するニュースを見たり、興味をもった事象について調べたりすることをおすすめします。

体験があるとわかりやすい「飽和水蒸気量」の問題

【3】

冬休みのある日、暖かい部屋の中からダイ吉くんが外を見ようとすると、窓ガラスの(1)がくもっていました。

ダイ吉 「お母さん、窓がくもっていて外が見えないね。」

お母さん 「(2)空気中の水蒸気が水きになって窓ガラスに付いたのね。夜の(3)、草木の葉に朝つゆが付くのも同じ理由よ。」

(後略)

(1) ①にあてはまる語句はどれですか。  
ア. 内側 イ. 外側 ウ. 内側と外側

(2) ②のように、空気中の水蒸気が水きになった理由は次のどれですか。  
ア. 水は100℃以上では気体、100℃以下では液体になるから。  
イ. 空気を含むことのできる水蒸気量は、温度が低くなるほど少なくなるから。  
ウ. 温度が上がって、水蒸気の一部が液体の水になったから。  
エ. 空気が圧縮されて、水蒸気の一部が液体の水になったから。

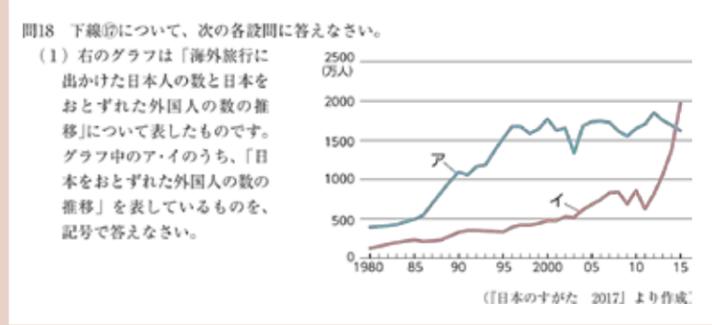
(3) ③にあてはまる説明はどれですか。その答えを選んだ理由も書きなさい。  
ア. 雨が降っていると  
イ. 空がくもっていると  
ウ. 空がよく晴れていると  
エ. 強い風がふいていると



**社会** 鈴木 尚文 担当者が選ぶこの1問  
晃華学園中学校 問① 問18(1)

時事問題は身近なところから関心を向けていこう

海外旅行に出かけた日本人(出国日本人)と、日本を訪れた外国人(訪日外国人)の数の推移を表したグラフの読み取り問題です。アは、以前からより多く、最近20年間はほぼ横ばい状態が続いています。一方、イは近年急増し、2015年にアを追い抜いています。このできごとは、「1970年以来45年ぶりの逆転」とニュースになりました。中国人旅行者による「爆買い」、訪日外国人の消費を指す「インバウンド消費」、住宅を活用して宿泊サービスを提供する「民泊」などもよく話題にあがります。統計資料を読み取る基本的な問題ですが、どれだけ時事的な問題に関心を向けられているかがポイントです。



今後増えることが予想される国際的な話題に関する時事問題

#### 差がつく! 学習アドバイス

今回の問題の内容やグラフは、Z会中学受験コース社会では、6年生7月号「日本と国際社会」の中で取り上げています。3・4年では、身近な社会に対する興味・関心を養うことが大切です。新聞やテレビなどのニュースに関心をもち、家族で話題にしたり、気になったことを調べたりしてみましょう。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、国際的な話題がますます増えることが見込まれますので、何かに着目して調べてみると、より興味が深まります。Z会では、6年生の後半期に、時事問題のまとめや最新の統計資料にじっくり取り組む学習を用意しています。